

議事概要録

件名	第5回 新得町観光振興ビジョン検討会議																																										
日時	平成30年2月27日(火) 18:00~19:15																																										
場所	新得町役場第3会議室																																										
出席者	・検討会議委員 (五十音順、敬称略) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">委員名</th> <th style="width: 20%;"></th> <th style="width: 20%;">出欠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新得ハイヤー有限会社</td> <td>石畑 政俊</td> <td>出席</td> </tr> <tr> <td>みなとや</td> <td>今井 崇敬</td> <td>出席</td> </tr> <tr> <td>新得町商工会</td> <td>岩宮 佳佑</td> <td>欠席</td> </tr> <tr> <td>一般公募</td> <td>加藤 博</td> <td>出席</td> </tr> <tr> <td>宮城屋</td> <td>金沢 陽子</td> <td>出席</td> </tr> <tr> <td>株式会社マルサ 齊藤商店</td> <td>齊藤 武</td> <td>欠席</td> </tr> <tr> <td>共働学舎新得農場</td> <td>高橋 英夫</td> <td>出席</td> </tr> <tr> <td>TACとかちアドベンチャークラブ</td> <td>野村 竜介</td> <td>欠席</td> </tr> <tr> <td>新得町観光協会</td> <td>藤森 宗智</td> <td>出席</td> </tr> <tr> <td>新得神社氏子会</td> <td>古川 盛</td> <td>出席</td> </tr> </tbody> </table> ・事務局 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tbody> <tr> <td style="width: 60%;">産業課長</td> <td style="width: 40%;">石塚 将照</td> </tr> <tr> <td>産業課課長補佐</td> <td>佐々木 隼人</td> </tr> <tr> <td>産業課観光計画係長</td> <td>金澤 直樹</td> </tr> <tr> <td>産業課観光計画係</td> <td>村瀬 祐樹</td> </tr> </tbody> </table>		委員名		出欠	新得ハイヤー有限会社	石畑 政俊	出席	みなとや	今井 崇敬	出席	新得町商工会	岩宮 佳佑	欠席	一般公募	加藤 博	出席	宮城屋	金沢 陽子	出席	株式会社マルサ 齊藤商店	齊藤 武	欠席	共働学舎新得農場	高橋 英夫	出席	TACとかちアドベンチャークラブ	野村 竜介	欠席	新得町観光協会	藤森 宗智	出席	新得神社氏子会	古川 盛	出席	産業課長	石塚 将照	産業課課長補佐	佐々木 隼人	産業課観光計画係長	金澤 直樹	産業課観光計画係	村瀬 祐樹
委員名		出欠																																									
新得ハイヤー有限会社	石畑 政俊	出席																																									
みなとや	今井 崇敬	出席																																									
新得町商工会	岩宮 佳佑	欠席																																									
一般公募	加藤 博	出席																																									
宮城屋	金沢 陽子	出席																																									
株式会社マルサ 齊藤商店	齊藤 武	欠席																																									
共働学舎新得農場	高橋 英夫	出席																																									
TACとかちアドベンチャークラブ	野村 竜介	欠席																																									
新得町観光協会	藤森 宗智	出席																																									
新得神社氏子会	古川 盛	出席																																									
産業課長	石塚 将照																																										
産業課課長補佐	佐々木 隼人																																										
産業課観光計画係長	金澤 直樹																																										
産業課観光計画係	村瀬 祐樹																																										
資料	資料1：新得町観光振興ビジョン(案)パブリックコメントにおける提出意見と対応 資料2：新得町観光振興ビジョン																																										

議事内容

1 開会・挨拶

- ・進行：産業課佐々木補佐
- ・進行を石畑委員長に交代
- ・石畑委員長から挨拶

【石畑委員長】

- ・今回が最後の会議になる予定。ビジョンを最終的な形にしていくので、よろしく願いしたい。

2 議事

(1) パブリックコメントの結果について（資料1）

- ・事務局から説明

【事務局 金澤】

- ・資料1はパブリックコメントにおける提出意見と対応についての概要。
- ・パブリックコメントによる意見募集は、役場産業課、屈足支所、町図書館、町ホームページにおいてビジョンの素案を公表し、1月15日（月）から2月14日（水）までの1ヶ月間実施した。
- ・提出意見について、(1) 意見提出者数は4人で、(2) 意見件数は33件。(3) 提出方法はメールが2人、持参が2人。(4) 意見の内容と件数は記載のとおりだが、具体的意見と、その対応については、次のページ以降の別紙となる。
- ・提出のあった意見については、委員にはそのままの形で事前に送付させていただいたが、要約してその概要をまとめ、一番右の欄に対応案を記載した。ビジョンの修正に繋がった意見を中心に主なものを説明する。
- ・1番は「729千人」というような表記が読みづらいという意見で、「72万9千人」というように修正することとしている。
- ・3～5番はビジョンの位置付けについての意見で、現状の改善ばかりで、具体性がなく、明確な到達目標像がないといった意見。この意見に対しては、ビジョンは指針として存在するもので、「観光地域づくり」という大きな方針を立てて、総合的な観光の方向性を描いたのがこのビジョンであり、何かに特化したり、現状の自然な延長線上にない未来像を描くことは避けている、と回答している。意見者の方はまったく新しい観光の展開をこのビジョンに期待しているようだが、このビジョンでは無理なく継続的に進めていけることをひとつの方向性としている。
- ・7番は「方向性の柱」についての意見で、大雪山国立公園の有効活用は登山客誘致には不可欠であるので、国の観光推進施策にある「国立公園満喫プロジェクト」の選定に向けた活動などについて記載してはどうかというもの。「国立公園満喫プロジェクト」は、2020年までに外国人の国立公園利用者数を年間1,000万人に増やすことを目指して開始したもので、現在先行的に取組を進める公園として8つの国立公園が選定されているので、今後の展開を見越して追加選定されるように活動してはどうかという内容。この意見への対応については、32ページの「重点施策1 景観の魅力向上」の課題についての記載の中で、大雪山国立公園等の魅力の有効活用について触れ、強みを生かした戦略的な観光客誘致が有効であると整理しており、今後の取組の中には当然含まれてくるものと考えている。これ以上意見に対応して何か具体的な記述を付け加えるかどうかについては、今後のこのプロジェクトの展開の方向性と、大雪山国立公園を所管する国や道と関係市町村の意向が深く関わるため、何の協議もなしに新得町が単独でこのプロジェクトに参画していく旨を明言することは難しい状況。
- ・8～10番は「狩勝高原園地再整備」に係る意見で、整備に関する具体的な意見に対しては、「狩勝高原園地再整備事業計画案」が作成され、今年度パブリックコメントを実施するなど、正式な手続きを経た検討が進められているところなので、ビジョンへの反映については、その進捗に応じて今後検討することとしている。
- ・9番の景観条例の制定が必要との意見に対しては、景観条例の意義について認識することは重要だが、条例は自由な活動を縛る面もあることから、町民の共有意識がない現状では条例の制

定は難しい状況であり、今後の検討になるとしている。なお、メガソーラーの設置に関しては、すでに道が景観法に基づく届出制度をおこなっており、ガイドラインを策定するなど事業者に対して配慮を求めている。

- ・ 11～13番は「JR新得駅周辺整備」に係る意見で、駅前再整備は町民のためなのか、観光客のためなのか、観光客のニーズも調べて誰のために整備していくか考える必要があるという意見。これに対しては、「現在、新得駅前周辺の再整備の検討は商工会を中心に行われており、観光客のためのものではありませんが、JRを利用する観光客にとって、駅及びその周辺は玄関口として、特に短期滞在の観光客にとっては町のイメージを決定づける可能性があるため、観光客にも配慮する必要がある」と整理している。「誰のためのものか」という意見なので、「観光客のためのものではない」と回答しているが、無理のない範囲で観光客対応をすることは自然なこと。観光場所と町民の生活圏は切り離して考えた方がいいという意見があるが、ビジョンでは観光地域づくりを掲げ、地域づくりと観光を結びつける方針としている。
- ・ 13番は駅周辺のWi-Fi環境の整備についての意見だが、来年度に整備する予定。
- ・ 14～17番は「外国人観光客対応」に係る意見で、外国からの観光客はある程度英語ができることと、多言語対応をするとデザイン性等の問題でわかりにくくなるために、英語のみの対応が良いとの意見。この意見に対応し、10ページの「繁体字、簡体字、英語でのパンフレット等の案内に配慮する必要があります」との記述は「英語を中心に、繁体字や簡体字での案内にも配慮する必要があります」と修正し、34ページの「多言語化への対応や～」の前に「英語を中心に可能な範囲で」を追加している。ビジョンの中に「多言語化」「多言語対応」の文言は残している箇所はあるが、これは英語を基本としつつも、食事における素材の説明や文化・歴史の説明など、簡単な英語では説明しきれない、かつ、確実な理解が必要な場合などはその他の言語にも配慮する必要があるから。最初からすぐに完璧な対応はできないので、予算等を考慮し、できることからやっていく必要がある。
- ・ 18～19番は「観光産業」に係る意見で、19番では、「新得の箱菓子だけならば、新得物産でも販売しており、あえて作る必要がなく、旅行者からすれば白い恋人でも北海道みやげとして成立するのではないかと」の意見を踏まえ、37ページの「配るものとしてちょうどいいおみやげ品が新得にはないため、開発します」という記述を、「配るものとしてちょうどいい新得らしいおみやげ品が少ないため、開発します」と修正した。新得町の観光客は道内客が圧倒的に多いため、白い恋人のような北海道みやげではなく、新得町みやげを用意する必要がある。
- ・ 20番の「短期、中期、長期区分について、一応の年次を示した方がよい」との意見に対し、「環境の変化等もあり、具体的なスケジュールを決めて行動を縛るのは適切ではなく、ある程度の裁量が必要と考え、大まかな区分で示しています」と回答しつつも、確かに、その区分がどの程度のものかイメージが難しいと考えられるので、35ページに「短期は1～3年、中期は4～6年、長期は7～10年程度として整理しています。」という記述を追加している。
- ・ 22番の、短期で実現する計画の「レンタルサイクル・レンタカーの充実」と中期で実現する計画の「観光ルートの作成・提案」は同時限でやるべきではないかとの意見に対しては、「観光ルートの作成・提案」は事前調整や調査などある程度の時間が必要なものもあるため「中期」としていたが、御意見を踏まえ、短期で実現可能なものもあるため、できることからやっていくという意味で「短期」に修正した。
- ・ 28番の「観光協会の独立については、観光協会内で話し合う事案ではないか」との意見につ

いては、検討会議で観光振興の実施体制を検討する中で、観光協会の法人化が必要だとの結論に達したため、一つのあるべき姿として記載しているものだが、断定的な記述は誤解を受ける可能性があるため、注釈として48ページに「※法人化決定の権限は観光協会総会にあります」という文言を追加している。

- ・29番～31番については、「観光協会の独立についてスケジュールや組織ばかりが先行し、具体的な内容が決まっていなく、メリットがわからない。財政的独立も困難。また、現時点で建設されていない狩勝高原園地や道の駅の管理業務委託を記載することも疑問」といった内容の意見。回答としては、①観光協会の法人化は、以前からの検討課題であったことから、最初の一步としてまず法人化するということにご理解をいただきたいこと②財政的課題については、全国的にも完全な独立採算でやっている事例はなく、一定の公的サポートは必要であること③法人化といっても株式会社ではなく一般社団法人なので、営利目的の団体ではないこと④狩勝高原園地（ガーデン）や道の駅の管理業務の受託については、先行する他自治体の事例などを参考に例として記載しており、将来的に有力な収益事業の候補として記載していること、などとしている。法人化後の具体的なことは来年度観光協会内で検討し、時間をかけて体制を整えていく。
- ・最後33番は「町民・事業者の役割」に係る意見で、「そもそも町民に観光意識がないので、町民が意識を持つことは良いことだが、あえて町民を観光計画に組み込むことが良いとは思えない。やる気のある事業者や能力のある観光関係者に投資してけん引していく形をとるべきではないか」という内容の意見。これに対しては、「観光振興の方針として掲げている「観光地域づくり」には、観光振興に町民にとって身近なまちづくりの視点を加え、生活と観光の調和を図ることで、無理なく継続的に進めていこうという発想があります。観光客を受け入れる体制を整えるには住民の理解が不可欠であり、町民に対して特別な活動を求めるのではなく、観光意識を高めてもらおうという考えのもとビジョンを作成しています」というように回答している。
- ・パブリックコメントの実施結果は以上のとおりで、資料1の内容を町のホームページに登載するほか、ビジョン本体の中にもその概要を登載する。

《委員発言》

【石畑委員長】

- ・以上、説明があったが、何か意見・質問はあるか。対応についてもこれで良いか、意見をいただければ。
- ・なお、本日欠席の委員にも事前に資料を送付し、内容を確認してもらっている。

【金沢委員】

- ・パブリックコメントの提出意見を拝見したとき、専門的で素晴らしいと思えるものがあつた。（ビジョンに反映されていない意見で）同調する意見もあつたが、今回のビジョンは無理なくやっていくということが前提という説明を聞いて、考え方はクリアになった。最初にこの場に來たときは今まで思っていたことが言えると思ってきた。商工業者としての視点から（これまでの観光政策に）正直不満もあつたが、（会議に参加して）今までわかっていなかったことも理解でき、不満も緩和された。

【古川委員】

- ・このビジョンについてはこれまで検討してきたものにパブリックコメントの意見を踏まえて検討し、修正されてできたもの。この形でもよしいのではないかと思っている。

【加藤委員】

- ・2020年には観光客を2倍にするという国の話もあるが、新得町として来年からどんなことを進めていくのかを聞きたい。

→来年度の予算案はすでにまとまっている。レンタルサイクルは充実する。駅周辺のWi-Fiも整備する。

【石塚課長】

- ・今、観光循環バスを走らせているが、結構お客が乗っている。(バスを利用してやってくるお客で) 町内の居酒屋が予約でいっぱいになっている。この事業は来年度も継続する。

【今井委員】

- ・直接お客さんと接する商工業者のスキルアップ、英語も含めた対応の仕方、「いらっしやいしんとく」につながるもう一步が必要。

【藤森委員】

- ・写真のメニューが必要。札幌ではかなり広まっている。今後対応を考えている。

【石畑委員長】

- ・お店の営業時間がわからない人も多い。

【加藤委員】

- ・もう少し営業時間を長くしないと。

【金沢委員】

- ・朝から晩までだと交代要員がない。

【石畑委員長】

- ・おみやげの話があったが、意外にスーパーで売っているお菓子とか果物を山ほど買う人も多い。
- ・観光客が来ているイメージがないという意見もあったが、来てはいるがそれをなかなか知る機会がない。何かのきっかけで知る機会があればもっと関心を持ってもらえると思う。

【今井委員】

- ・今トマムに人が多い。JRで新得に来て駅周辺を歩いている。受け皿的なものやインフォメーションがあれば。

【石畑委員長】

- ・(国道沿いのバス停から) 高速バスに乗る人が街中をよく歩いている。よく通るところの周辺に住んでいる人が英語で案内をしていたりして、触れあう機会がある。

【金沢委員】

- ・(宮城屋旅館の) お客によく荷物を預かって欲しいと頼まれるが、スーツケースのような大きい荷物を預かるスペースがない。駅のステラステーションで荷物を預かってくれるが、一日中はやっていない。観光地なのにコインロッカーがないのは問題。スーツケースのような大きい荷物を預けられることは街中を歩いてもらうことに繋がり、収益に無関係ではない。

【石畑委員長】

- ・それではパブリックコメントへの対応について、これでよろしいでしょうか。

⇒了承

(2)「新得町観光振興ビジョン」の決定(資料2)

- ・事務局から説明

【事務局 金澤】

- ・パブリックコメントの結果を踏まえた修正は先ほどご説明したとおり。それ以外の修正点について説明する。
- ・前回の議論で、空きスペースを埋めるために使用している写真について意見があったが、他にふさわしいと思われる写真がなかったので、変更はせず、主張しすぎない程度にサイズを縮小し、何の写真かの説明を加えた。16 ページ【新得町市街地の風景】、18 ページ【そば畑】、24 ページ【狩勝ポッポの道】、31 ページ【トムラウシ山 山頂からの景色】の4枚。
- ・他は、53 ページの検討会議の概要と54 ページのパブリックコメント実施概要を現状に合わせて記載し、奥付の部分の記載を表紙と同様に改めた。

《委員発言》

【石畑委員長】

- ・以上、説明があったが、全体を通じて何かご意見・ご質問はあるか。これでビジョンの決定となるので、細かい部分でも結構なのでお願いできれば。

【古川委員】

- ・検討会議という立場でこれ以上踏み込めないし、すべて盛り込まれているのでこれでよいと思う。

【石畑委員長】

- ・最初にこの会議を始めるに当たって、今まで観光に関するビジョンがなかったというところから始まった。今回作成したことで、これを機に今後町民の方にも関心を持ってもらえれば。

【古川委員】

- ・今後観光協会などビジョンを実行する側は色々なところで説明が求められ、難しいと思うが、上手に説明していただきたい。

【高橋委員】

- ・今後、進捗状況の検証やビジョンの見直しなどはどうなるのか。
- 成果指標は毎年検証する。観光状況が変わり新たな課題が生じるなどすれば、どういうやり方をするかは決まっていないが、ビジョンの見直しをする可能性はある。

【石畑委員長】

- ・ビジョンの今後の扱いを教えて欲しい。
- ビジョンをホームページに登載し周知する。町の広報でもビジョンを策定したことを周知する。

【今井委員】

- ・観光は変化が当たり前。我々も変化に対しての責任はある。こういった会議のような話し合いの場は今後も必要になる。検証委員会を立ち上げてもらえれば。

【加藤委員】

- ・個別施策で長期・中期・短期と分けて計画ができていますので、毎年進捗状況が見えないといけない。(計画が)進んでいることを町民に知ってもらえれば協力してくれる方も出てくる。進捗状況を公表した方が良い意見が出てくる。

【高橋委員】

- ・重要なのはこれ（ビジョン）を作ることではなくて、この先計画が実行されることが重要。

【石塚課長】

- ・進捗状況を調査するための予算は確保している。総合計画は進捗状況を公表しており、同じような形で公表することは可能。

【高橋委員】

- ・外国人観光客もいわゆるおみやげを買うものなのか？　うちはチーズ（が主要商品）なので買わない。

【石畑委員長】

- ・中国の方はスナック菓子やイチゴなどを大量に買う人はいるが、いわゆるおみやげ品として用意されているものを買うイメージはない。コンタクトレンズの洗浄液とかおむつとか、普通にあるものを買っている。食に関してはどこかいいところがないかは聞かれる。
- ・トナムにはあまりお店がないので、高速道路を使って清水町まで買い物に来ている。

【今井委員】

- ・我々業者ももうちょっと頑張って便利な町にしないとダメ。

【石畑委員長】

- ・新得から帯広に買い物に行く観光客もおり、イトーヨーカドーに行けば近くに家電販売店もユニクロもあり全部そろふ。
- ・日本人観光客は食事を望む人が多い。日本人は予めおみやげのイメージをもって来ている。
- ・ワカサギ釣りなどの体験型観光は外国人、日本人を問わず来る。

【藤森委員】

- ・犬ぞりは鹿追がすごい。札幌からJRで日帰りでお客さんが来ている。乗っている姿をドローンで撮影するというようなサービスを行っている。前に話に出た馬そりが実現できればいい。

【金沢委員】

- ・外国人観光客の行動で驚いたことは、子どもはトナム、親はサホロで遊ぶなど、家族が個々に自由に行動して楽しんでいるところ。ロングバケーションを取っている人が多く旅慣れているので旅程の組み方が上手だと思った。

【石畑委員長】

- ・他に何か意見はあるか。

⇒なし

- ・それではこれでビジョンの決定ということになる。

3 閉会

【石塚課長】

- ・5回にわたりありがとうございました。今後の検証についても十分検討する。

【石畑委員長】

- ・これをもって会議を終了する。お疲れ様でした。

以上